

日本でいちばん売れている

小型国語辞典、

高校の採用・推薦でも

常に断然トップ！

新明解

国語辞典

第

七

版

山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善道・井島正博・笹原宏之〔編〕

好評発売中!



[並版(赤)・特装版(白)・特装青版] B6判・1,728頁・2色刷・定価(本体3,000円+税)

三省堂

第七版 改訂のポイント

point

point 1

見やすさの追求

- 判型を大きくし、紙面を刷新。文字が読みやすくなりました。
- 並版・特装版・革装版は、B6変型判をB6判にし、天地で5ミリ、左右で11ミリ大きくくなりました。小型版は、判型としては同じA6変型判ですが、天地で7ミリ、左右で10ミリ大きくなっています。

point 2

「文法」欄を新設

- より深い日本語理解のために、語と語の正しいつながり方や語順を説明する「文法」欄を新設。広義の文法解説として、類義語の意味の違いなども、この欄で正確に解説しました。

point 3

新語を含め、約1,000項目を新たに追加

- 「就活」「食育」「スマートフォン」「ツイッター」「電子黒板」「真逆」などを追加して、総項目数が76,500語(六版)から77,500語(七版)に増えました。

point 4

新「常用漢字表」に完全対応

- 2010年11月に内閣告示された新「常用漢字表」や、同時に改定された新「人名用漢字」に対応した内容となっています。

point 5

語釈にさらにみがきをかける

- 意味分析を二段と深め、とりわけ「文法」欄とも連動しつつ類義語相互の違いが分かるよう、語釈にさらにみがきをかけました。

point 6

アクセント欄のブラッシュアップ

- 規範性を重視した「東京通用アクセント」を表示する方針のもと、定評あるアクセント欄を徹底して見直しました。

第七版で新設された「文法」欄！

さらに詳しくなった用法の解説

日本語を母語とする人は、理屈ではなく自然に、いわゆる正しい日本語を話し、理解できますが、それがなぜ正しいのかを理屈で説明できる人はごく少数です。「文法」欄の新設は、その理屈での説明を通じ、日本語を外から見る目を養おうとする試みです。

日本語を外から見る目を養うことは、より深い日本語理解につながります。同時に、広義の文法解説として、類義語の意味の違いなども、この欄で正確に解説します。この「文法」欄は、外国人の日本語学習者や、日本語教育に携わる人などにも、非常に有用有益な情報となるでしょう。

****あがる**〔上がる〕■④(自五)①(タリカラ)タリニ・タリ

↓△低い位置(下の方)から△高い位置(上の方)へ移った状態になる。(上)の立場の△相手の△部屋に入る(家を訪問する)意にも用いられる。「水位が―屋上に―階段を―(1)のぼる)／ふろから―(1)出る)／おかに―(1)上陸する。②水中にすんでいたものや水上生活者が陸上の生活に移る)／どうぞお上がりください)／宮中に―(1)参内する)／奉公に―(こちらの方から上がらせて―(1)参上させて)いただきます飛び―

③(△なにカラはニ)↓程度や段階が今までより高い状態になる。(成績(地位・人気)が―△物価(給料)が―熱が―小学校に―(1)入学する)／株が―(1)株)／風采が―(1)前よりりっぱに見える)／氣勢が―手が―(1)芸や技能が前より上手になる。④酒が強くなる)／テンションが―(1)気分が盛り上がる)／あがって―(1)頭に血がのぼって)失敗した馬が―(1)棒立ちになってあはれる)／

⑤(△なにニ)↓それとはっきり分かる△形(行為)として認められる状態になる。「旗が―火の手が―夜空に花火が―喚声が―(1)わき起こる)／△平和を求める(非難の・不満の)声―

④(△なにニ)↓何らかの条件に適合したものととして、具体的に示される。「証拠が―次期総裁の候補に名が―犯人が―(1)逮捕される)／槍玉が―(1)槍玉)／

《中略》

表記 ■③は「揚がる」、■④は「挙がる」とも書く。「↑上がり目」**文法** ①②③④の「あがる」は低い位置から高い位置に移動した結果に着目する表現に多く用いられる。これに対する逆方向の移動は一般に「おろる」が用いられる。また、同じく低い位置から高い位置への移動を表す「のぼる」は、多くの場合順路・経路に沿って移動するという移動のしかたにも着目した表現である。これに対する逆方向の移動は一般に「くだる」が用いられる。これらのことから、「階段をの

ぼって屋上にあがる」では「階段」はのぼる行為の経路を表わし、「屋上」は到達点であることを表わす。一方、「階段をあがって屋上にのぼる」という表現も成り立ち、日常の談話では低い位置から高い位置へ移動する具体的行為を表わす場合には「あがる」とのぼる」が必ずしも明確には使い分けられていない。逆方向の移動の行為を表わすときは「階段をくだって一階におろる」などという。(2)■⑤で人を含む物体・物質の移動については「あがる」も「のぼる」も用いられる(逆方向の移動は「さがる」「おろる」「くだる」)が、抽象的なもの、つまり、程度の変化については一般に「あがる」(逆方向の場合は「さがる」)しか用いられない。(3)相対的な高低差を表わす場合には、「水平を保つべきものについて」右の方が少し△あがっている(さがっている)と「あがる」「さがる」を用いる。

***さわる**④サ(自五)■③「触る」(なに・だれニ)↓①何か△に

手が(が手に)接して、そのものの存在を確かめたりある種の刺激を受けたりする。「多く、意図的な動作について言う。また、広義では足が何かに接する意にも用いられる」「触ってはいけない／軽く―」②そのものに近づいて、かわりを持ちたり問題にしたりする。「寄ると―と今 機嫌が悪いから触らないでおこう」触らぬ神にたたりなし)／△余計な事に手を出さなければ、不結果を招くことも少ない)／**文法** ①は「ペンキを塗ったばかりの壁に触ってしまった」「ポケットに手を入れる」と指先に触るものがあつたなどと(必ずしも)意図的でない行為である場合には多く「…に触る」となるが、「感触を確かめよう」とバラの花びらを触る」などと意図的な行為として行なう場合には「…を触る」の形を用いる傾向がある。

判型を大きくし、紙面を刷新！ 文字が読みやすくなりました

これまで以上に読みやすい紙面を目指して、判型を少し大きくしました。
 (「机上版」と「大活字版」は、これまでと同じ判型です)

【並版・特装版・革装版】B6変型判(天地177×左右117ミリ) → B6判(天地182×左右128ミリ)

【小型版】A6変型判(天地154×左右103ミリ) → A6変型判(天地161×左右113ミリ)

さらに、全ページを新しく組み直しました。「三省堂活字」と呼ばれる「かな文字」オリジナル書体などの伝統を引き継ぎながらも、紙面設計を全面的に刷新。細部にまで工夫をこらして、小さな文字でも読みやすい紙面としました。

【字音語の造語成分】 あん (51)

あん (あんぐり)

〔安〕 ①危険が無い。やすらか。「安楽・安静・安泰平安」②やすめる。やすんじる。「安心・慰すい」③手軽な。たやすい。「安易・安直」④値段がやすい。「安価」⑤略。「アンモニウム」⑥「確安」(字の唐音)⑦旅に行く。「行脚」⑧「行宮」⑨持ち運ぶ。「行灯」⑩「行火」

〔按〕 ①おさえる。なぞする。「按摩・按腹」②考える。調べる。「按分」

〔案〕 ①考える。調べる。「按分」

〔暗〕 ①くろずんだ。「暗赤色」②明(③おろか。「暗君・暗愚」④人に知られないように表向きは教えずで)何かを。「暗殺・暗示」⑤書きたりしないで書いた物を見ないで)何かをする。暗記・暗算」⑥は、「暗」とも書く。⑦(本文)あん(暗)

〔鞍〕 馬の背に載せるべし。「鞍上・鞍馬」

〔闇〕 ①暗(②暗い闇)

あんい ①(安慰)心の安らぎを得ること。②(安んず)安んずる。③(安んず)安んずる。④(安んず)安んずる。⑤(安んず)安んずる。⑥(安んず)安んずる。⑦(安んず)安んずる。⑧(安んず)安んずる。⑨(安んず)安んずる。⑩(安んず)安んずる。

あんい ①(安逸)安んずること。②(安逸)安んずること。③(安逸)安んずること。④(安逸)安んずること。⑤(安逸)安んずること。⑥(安逸)安んずること。⑦(安逸)安んずること。⑧(安逸)安んずること。⑨(安逸)安んずること。⑩(安逸)安んずること。

あんい ①(安んず)安んずること。②(安んず)安んずること。③(安んず)安んずること。④(安んず)安んずること。⑤(安んず)安んずること。⑥(安んず)安んずること。⑦(安んず)安んずること。⑧(安んず)安んずること。⑨(安んず)安んずること。⑩(安んず)安んずること。

あんが ①(安んず)安んずること。②(安んず)安んずること。③(安んず)安んずること。④(安んず)安んずること。⑤(安んず)安んずること。⑥(安んず)安んずること。⑦(安んず)安んずること。⑧(安んず)安んずること。⑨(安んず)安んずること。⑩(安んず)安んずること。

あんが ①(安んず)安んずること。②(安んず)安んずること。③(安んず)安んずること。④(安んず)安んずること。⑤(安んず)安んずること。⑥(安んず)安んずること。⑦(安んず)安んずること。⑧(安んず)安んずること。⑨(安んず)安んずること。⑩(安んず)安んずること。

あんが ①(安んず)安んずること。②(安んず)安んずること。③(安んず)安んずること。④(安んず)安んずること。⑤(安んず)安んずること。⑥(安んず)安んずること。⑦(安んず)安んずること。⑧(安んず)安んずること。⑨(安んず)安んずること。⑩(安んず)安んずること。

** *は重要語、①②…はアクセント記号、品詞の指示の無いものは名詞およびいゆる連語。

第六版までに育まれてきた特長

『新明解国語辞典』は、1972年(昭和47年)の初版以来、語釈の充実深化に努め、もつとも信頼できる、現代日本語の意味用法を過不足なく記述した国語辞典として、圧倒的な評価を得てきました。そして、第六版(2004年発売)までに育まれてきた左記の特長は、第七版にも受け継がれています。

シャープな語釈

●「新明解国語」の語釈は、長年にわたる用例収集と、それをもとにした精密な意味分析から生まれたものです。だからこそ、単なる用字の説明や近似的な語句への言い換えに終わらない、類義語相互の違いまで明確に理解できる内容となっているのです。

こうふく【幸福】

●「新明解国語」の語釈

現在(に至るまで)の自分の境遇に十分な安らぎや精神的な充足感を覚え、あえてそれ以上を望もうとする気持をいなくとも無く、現状が持続してほしいと思うこと(心の状態)。

○ふつうの語釈

めぐまれた状態にあつて、満足に感じる。しあわせ。

くやし【悔しい】

●「新明解国語」の語釈

自分の受けた挫折感・敗北感・屈辱感などを拭い去ることが出来ず、なんとかして△目的を果たしたい(相手を見返してやりたい)という気持をいだき続ける様子だ。

○ふつうの語釈

人に負けたり、辱めを受けたりして、腹立たしく残念だ。

くちおしい【口惜しい】

●「新明解国語」の語釈

△負けるはずがないと思っていた相手に負ける(予期していたほどの成果が得られない)などとして、自分の能力のなさを思い知らされて悔しいと思う様子だ。

○ふつうの語釈

残念だ。くやしい。

実感あふれる用例

- どんな語と結びついて使うかを明示することに努めた用例は、巧まざるユーモアをかもし出すほどに実感あふれるものばかりです。
- 重要項目には、文章作成に役立つ「基本構文の型」を表示しています。

膨大なアクセント表示

- すべての見出し語にアクセントを表示。朗読や外国人の日本語学習の際に非常に便利であると好評です。

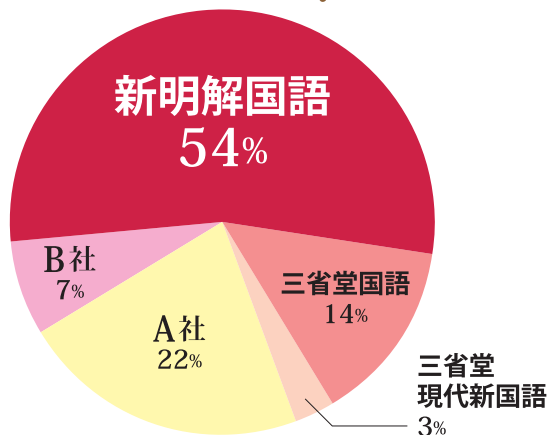
かゆいところに手が届く便利な工夫

- 物の数え方が分かる「かぞえ方」欄で、たとえば、筆筒(たんす)を「一棹(ヒトサオ)・一点」と数えることなどを表示しています。
- 漢字の書き分けが分かる「表記」欄で、たとえば、顔色が青ざめた様子を示す場合は、「青い」のほかに「蒼い」とも書くことなどを表示しています。
- 待遇表現など、言葉を効果的に使うための情報を提示した「運用」欄で、たとえば、「あなた」という呼称は、「特に男性が、目上の人や初対面の人に用いると、見下したような印象を与えやすい」ことなどを表示しています。
- 巻頭に置かれた「漢字索引」により、漢字が読めない場合も、引きたい言葉にたどり着くことができます。

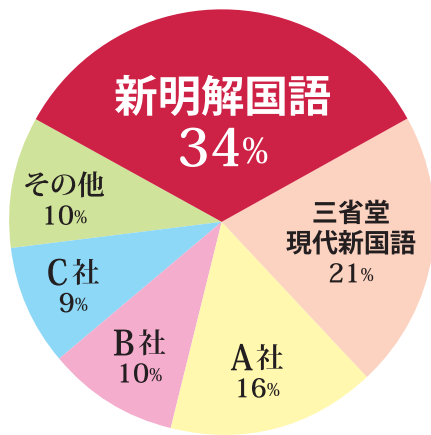
累計売上部数2,200万部! 日本でいちばん売れている 小型国語辞典!

(『明解国語辞典』からの累計売上部数、各版合計)

高校の採用・
推薦でも、
常に
断然トップの
座を確保!
小型国語辞典
上位10点の中で、
常に圧倒的な
トップシェアを
維持!



*当社調べ:2017年3・4・5月の実売調査による。
「新明解国語」は並版・特装版・小型版・特装青版の合計。



*当社調べ:2017年新学期の採用・単独推薦校集計による。

多様なニーズに応える充実のラインナップ!

*いずれも1,728頁・2色刷

| | | | |
|-------------|-----------------|--------------|-----------------|
| [並版(赤)] B6判 | 定価(本体 3,000円+税) | [特装版(白)] B6判 | 定価(本体 3,000円+税) |
| [特装青版] B6判 | 定価(本体 3,000円+税) | [革装版] B6判 | 定価(本体 5,000円+税) |
| [小型版] A6変型判 | 定価(本体 2,800円+税) | [机上版] A5判 | 定価(本体 4,500円+税) |
| [大活字版] B5判 | 定価(本体 4,700円+税) | | |

*[並版(赤)]・[特装版(白)]・[特装青版]は、表紙・ケースのデザインが違うだけで、そのほかはまったく同じです。

<http://www.sanseido.co.jp/>

三省堂

◎本社 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎ 03-3230-9411(編集)・9412(営業)
 ◎大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎ 06-6341-2177
 ◎名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F ☎ 052-953-9211
 ◎九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎ 092-531-1531・1532
 ◎札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目2-1 ラスコム15ビル3F ☎ 011-616-8722